

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1220	(H.24)No.	1220
-----------	------	-----------	------

事務事業名	耕作放棄地等パトロール事業(緊急雇用創出事業)		
担当部局名	担当室名	室長名	
農業委員会事務局	農業委員会事務局	秋永正人	

会計区分	事業コード	291601
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	耕作放棄地等パトロール事業(緊急雇用創出事業)
項	農業費	(小事業名)
目	農業委員会費	耕作放棄地等パトロール事業(緊急雇用創出事業)

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	5	計画的な集落環境整備
	重点施策コード		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	耕作放棄の主な原因(高齢化・後継者不足、鳥獣害被害の拡大、放置された山林による日照障害等環境の悪化)に応じた対応策の検討、実施を行い、放棄地の解消と新たな放棄地の発生を抑制する。
事業内容	耕作放棄地の早期発見、解消のために市内農地の全域パトロールを実施し、耕作放棄地等を把握し、この情報を地図に落とし込み、筆ごとの一覧表を作成する。 この作業と併行して、耕作希望者と耕作放棄者とのマッチングを図るなど耕作放棄地の解消につながる施策を検討、実施する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	市内農地全域(農用地を優先)で臨時職員2名によるパトロールを実施し、耕作放棄地の早期発見、解消につなげるためのデータ(地図、各筆一覧表)を作製した。 ・賃金 4,457千円 ・共済費 140千円 ・需用費 106千円(ガソリン代) ・使用料及び賃借料756千円(軽四借り上げ) 上記データに基づき、耕作放棄地9.8haの所有者に解消を働きかけ、4.0haの解消につなげた。	緊急雇用創出事業としての本事業は平成24年度単年度で完了したが、耕作放棄地解消に向けた取組みは継続する。 新たな取組として耕作放棄地予防対策事業(1270、事業コード291701)を実施する。			

	H.24年度(決算見込)		H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	5,986千円					
内訳(千円)	国・県支出金	5,904				
	地方債					
	その他()					
	一般財源	(0) 82	0	0	0	0
人工数	職員	0.20人				
	臨時職員等					
	概算人件費	(0千円) 1,540千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	+ 総事業費	(0千円) 7,526千円	0千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
重点的に取り組んだ農用地(ほ場整備済の農地)の耕作放棄地解消率は40%であったが、耕作者の高齢化、後継者不足、獣害の拡大により、耕作放棄地の拡大は今後さらに加速すると予測される。	耕作放棄地の単なるパトロールとともに、耕作放棄地を生み出さない予防対策が必要である。そのため予防対策事業(1270、事業コード291701)を新たに実施する。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	農地と集落環境の保全のため、耕作放棄地の把握、草刈等の働きかけにより、その解消を行うことができた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(検討内容を記載)	地区、地域からの情報収集

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

〔選択肢〕 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画